

(様式2(1))

事業所名 グループホーム篠山東

## 目標達成計画

作成日: 平成 25 年 2 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	10-(9)	利用者の様子、アンケート結果、業務的な改善点などをご家族に伝える	ホームに関する事は利用者の様子と併せて伝える努力を行い、ご家族の満足度アップにつなげる	アンケート結果を報告する。ホームでの改善箇所を伝える。利用者の様子は特にお変わりが無い場合も月に一度はお知らせする。来訪時、気兼ねなく質問して頂ける雰囲気を作る。また、スタッフも積極的に説明できるようになる。年に1, 2回はご家族、管理者、担当スタッフ、できればご本人で面談を行い情報提供やケアについての意見を伺う。 12ヶ月
2	1-(1)	スローガンばかりが先走り、理念を念頭に置いていなかった	理念について理解を深めお互いの考えや思いを共有しよりよいケアにつなげる	施設の理念を毎朝、申し送り時に唱和することで啓蒙し、ミーティング時に話し合いを持つことでお互いの考えを共有しよりよいケアに活かす 6ヶ月
3	8-(7)	権利擁護の研修をしていない	年間計画に入れ権利擁護について学び必要時活用できるようになる	年間の研修計画に入れて知識の習得を行う、家族会でも希望があれば東部支援センターに依頼して勉強会を行う 12ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。